

平成30年度 保健師・助産師職能合同集会アンケート結果

日 時 : 平成30年6月16日(土) 午後2時～3時40分

講演内容 : 「妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援強化をめざして

～保健師・助産師の連携と果たす役割～」

講 師 : 武蔵野大学看護学部看護学科 教授

(前)公益社団法人日本看護協会 常任理事 中板育美 氏

参加者数 : 80人 (※職能委員等10名を除く)

アンケート回収 : 62部 (回収率 77.5%)

1 職能別参加数

	保健師	助産師	看護師 I	看護師 II	准看護師	計
参加者人数	41	38	1	0	0	80
%	51.3	47.5	1.3	0	0	100

2 アンケートの回答者

	保健師	助産師	看護師 I	計
参加者数	41	38	1	80
アンケート回答者数	41	20	1	62
%	100.0	52.6	100.0	77.5

3 参加者の年代

n=62

	保健師	助産師	看護師 I	人数	%
20代	4	1	0	5	8.1
30代	5	5	0	10	16.1
40代	10	6	0	16	25.8
50代	16	5	0	21	33.9
60代	5	2	1	8	12.9
70代～	1	0	0	1	1.6
無記入	0	1	0	1	1.6
計	41	20	1	62	100

4 研修に参加しての満足度は？

n=62

	保健師	助産師	看護師 I	人数	%
満足できた	37	14	1.0	52	83.9
ほぼ満足できた	4	6	0	10	16.1
あまり満足できなかった	0	0	0	0	0.0
不満	0	0	0	0	0.0
計	41	20	1	62	100

5 切れ目ない子育て世代包括ケアシステム構築のため、多職種で連携することの重要性や必要性について理解できましたか？

n=62

	保健師	助産師	看護師 I	人数	%
理解できた	36	14	1.0	51	82.3
ほぼ理解できた	5	6	0	11	17.7
あまり理解できなかった	0	0	0	0	0.0
理解できなかった	0	0	0	0	0.0
計	41	20	1	62	100.0

6 感想

【保健師】

- ・自己責任論について考えさせられた。
- ・個人情報保護法についての誤解に気づけてよかった。
- ・もっと医療機関や保育機関との連携を強化したい。
- ・普段、気がついていなくても言葉にできていない部分を整理できた。事例検討の重要性を再認識した。
- ・今後体制づくりが求められている「子育て世代包括支援センター」について、保健師の役割やスキルアップの重要性を再認識した。
- ・まさに今、子育て世代包括支援センターの立ち上げ準備中。非常に勉強になった。
- ・助産師と共に子育て支援や子どもを守ることに取り組んでいきたいと強く感じた。事例検討はやりたい。
- ・切れ目ない支援、虐待への支援等々、話を聞きながら自身の支援など考えながら聞かせていただいた。
- ・具体的な事例の話もあり、分かりやすかった。改めて、虐待対応には多職種で連携して関わっていくことが大切だと思った。
- ・虐待で死亡するケースもあり、身にしみて今後の活動の重要性を感じた。
- ・保健師はもっと母子保健活動を自分のものとして活動していくべき。助産師が子育て包括支援センターのメンバーになることで、保健師が手を引くことに危機感を感じている。保健師はしっかりしないといけない。
- ・支部でも保健師と助産師のケース検討を実施したいと思った。
- ・対人援助者としての高い目線、スキルを高めていくことの大切さを改めて研修させていただいた。
- ・講師の先生の熱い気持ちが伝わってきた。2時間位聞きたかった。
- ・対象を支援するための言葉かけ、勉強になった。
- ・観察する目、ホットな心を鍛えていきたい。関わる親子の“母”のような気持ちで接したい。
- ・いい時代に保健師をしていたと思う。虐待もあったかもしれないが、姑に気兼ねしている母親の代弁者として子育て支援をしてきた。現在は介護保険の相談や支援事業の仕事をしている。今後は、何らかの形で子育て支援に関われればと思っている。今回はとても良いお話を聞くことができた。
- ・子育て世代包括支援センターをどう作っていけるか・・・不安。
- ・短い時間だが、中身が濃い内容だった。事例も踏まえながら話をしてくださったので分かりやすかった。
- ・虐待の対応について難しさを感じていたが、今回学んだことを参考にスタッフ全員で考えていきたいと思う。
- ・日々の業務を振り返り、自分に不足していること、努力していかなければならないことを学ぶことができた。
- ・多くの機関との連携の大切さを再確認でき、予防の視点を学ぶことができた。
- ・分かりやすい内容で、考え方を整理することができた。自分が対応した事例を振り返る機会になった。是非事例検討をやってみようと思った。
- ・改めて母子保健の大切さを痛感した。心動かされる話がたくさんあり感動した。
- ・自身の職の役割の重要性を改めて考えさせられた。
- ・遠方から参加しているので、少し開始時間を早めていただきたい。
- ・総会からの空き時間の45分がもったいないと思った。会場が全体的に寒かった。

【助産師】

- ・自分がこれから助産師としてどう生きていくべきか考えさせられた。
- ・興味深い内容であり、また連携が必要な保健師と助産師の合同集会はとてもいいと思った。
- ・具体例を示され、内容もとても分かりやすかった。
- ・援助者として受容する態度が大切であり、頑張っている母親を認めることや褒めることの大切さ改めて学んだ。
- ・自分の見解だけで評価せず、事例検討会などを通し、より良いケアを模索していく事も重要である事も学んだ。
- ・地域と連携していく事はこれから益々大切であると感じた。参加して本当に良かった。
- ・保健師と助産師の気になる親子の視点の違いに驚いた。多職種が密に話し合い、より良いシステムの構築を考えていかなければいけない事を実感した。
- ・病院の現場ではよくある話の例題が多くあり、日々どうすべきかを悩むケースもあったので、とても参考になった。
- ・保健師と助産師が連携をとり、子供たちの幸せのために頑張っていきたい。
- ・実践に活かせる内容であった。
- ・行政の縦社会の関係から、助産師を交えての横の関係も作り上げていく事の大切さを痛感した。
- ・とても分かりやすい内容だった。親を救うという事を理解できた。
- ・すごく分かりやすかった。子育て包括支援について今まではイメージが湧かなかったが、具体的に理解できた。事例も交えながらの説明で、資料の内容がより深く理解できた。
- ・是非、保健師さんと事例検討していきたい。
- ・先生の熱い想いが伝わってきて、もっと話を聞きたいと思った。
- ・心が温まる研修だった。お話を聞きながら様々な事例を思い出しながら、納得することが多くあった。
- ・とてもためになる研修だった。ありがとうございました。
- ・子育て包括ケアシステムの全体も知る事ができただけでなく、システムの中に込められた熱い思いを受けることができた。助産師として連携できる事は大変嬉しく、頼もしく感じる。
- ・総会のあとの職能集会開始までの時間がもう少し短くてもいいと思う。
- ・資料が見つらなくて残念だった。

【看護師】

- ・具体的な内容で援助者としての在り方を考えるよい機会であった。

7 今後取り上げて欲しいテーマや取組について

【保健師】

- ・我がこと、丸ごと、地域包括ケアシステムについて
- ・次回も合同集会を希望する。
- ・また、中板先生の講話が聞きたい。
- ・職能同士の情報交換の場が欲しい。

【助産師】

- ・母子健康包括支援センター設置が広まった後の実際について。
- ・今回のテーマをもう一度より深く話が聞きたい。